2021 コロキウム

2021 年度 MACS 学生説明会

15th

MACS

MAthematics-based Creation of Science Program

4月23日（金） 15:00～

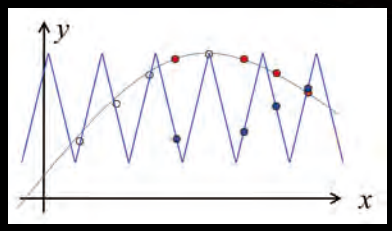
開催形式：Zoom オンライン会議

【参加登録】
https://forms.gle/rzGRtks1pLgQoFL6A

15:00～ 第15回 MACS コロキウム

「機械に認識させるとはどういうことか」 **講演者：石川 博 博士**
早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科

講演者は計算機に視覚を与えたいが、それはいったい何をすることなのかがよく解らない。数学の一つの特徴は、何について何を言っているのかよくわかることである。そのため現実の問題を数学的にうまく定式化すると、本質を捉えて多くの問題を解決することができるが、最初の定式化が難しい。視覚には多くの一面的な定式化が存在するが、それさえ最近まで解けなかった。講演では視覚がなぜ難しいのかということから始めて、最近起こったブレークスルーと、それでも残された問題について紹介したい。



16:05～ 2021 年度 MACS 学生説明会

スタディーグループ 2021 の代表教員・参加教員による企画説明（各 5 分程度、順不同）

- データ同化の数理と応用：理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス
  代表教員：坂上 貴之（数学・数理解析専攻）
- XR で見る・3D で触る先端科学
  代表教員：稲生 啓行（数学・数理解析専攻）
- 本物を見て考えよう！：脊椎動物の胚観察から数理の可能性を探る
  代表教員：高瀬 悠太（生物科学専攻）
- 自然科学における統計サンプリングとモデリング：数理から実践まで
  代表教員：林 重彦（化学専攻）
- 理化学研究所と MACS を繋ぐパイプライン
  代表教員：小林 俊介（数学・数理解析専攻）
- 自然界に見られる大きさと時間を見比べる
  代表教員：小山 時隆（生物科学専攻）
- 疾患における集団的細胞挙動の数理モデルの開拓
  代表教員：Karel Svadlenka（数学・数理解析専攻）
- コンピュータでとことん遊ぶ
  代表教員：藤 定義（物理学・宇宙物理学専攻）
- 理学におけるデータ科学：理論と実践
  代表教員：中野 直人（理学研究科 連携講師）
- 自然放射線の時系列データを読み解く
  代表教員：藤井 俊博（京都大学 白眉センター・理学研究科）
- 生命流体 × 流線トポロジーデータ解析 (TFDA)：
  生命のつくる流れとトポロジー
  代表教員：坂上 貴之（数学・数理解析専攻）

17:10～ 各スタディーグループの個別説明
(Zoom ブレイクアウトルーム)

※スタディーグループ（SG）参加対象：主に理学部・理学研究科の学生が参加対象です。それ以外の学生の登録も可能ですが、参加希望者多数の場合は調整の可能性があります。

今年度の SG の情報は以下の HP から得ることができますので参考にしてください。

http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/academics/programs/macs/sg/sg2021/

理化学研究所 数理創造プログラム（iTHEMS）協賛
iTHEMS RIKEN interdisciplinary Theoretical & Mathematical Sciences

SCIENCE KYOTO U
MACS 教育プログラム
数理を基盤として新分野の自発的創出を促す理学教育プログラム
macs京大 検索

●備考
◎本コロキウム・説明会は理学部・理学研究科の学生・教職員が対象ですが、京都大学の方ならどなたでもご参加いただけます。
◎問い合わせ先：macs ＊ sci.kyoto-u.ac.jp（＊を @ に変えてください）